

秋の自治体キャラバンで 彦根市に要請 ギャンブル施設建設阻止の具体策を！

県内の労働組合や民主団体などで構成する「秋の県民要求実現実行委員会」は、11月1日から11月16日にかけて、県内の各自治体に対して様々な県民要求を提出し交渉する「自治体キャラバン」に取り組んでいます。

彦根市との交渉は11月4日、彦根

市役所内で行われ、場外舟券車券売場建設問題についても意見を交換しました。

彦根地域労連から事前に提出していた要請書のうち、場外舟券・車券売場建設問題に関する要請事項は次の通りです。

周辺住民が反対し、文化・観光都市にふさわしくない場外舟券・車券売場建設反対の立場を堅持して、関係自治体（県・大津市）に強く要請すること。

彦根市

「反対の立場は変わらないが、
関係自治体への要請は考えていない

私達の要請に対し担当課長は「彦根市としては、現在も『反対』の立場は変わっていない。彦根市長の立場は関係市長に十分認識されており、要請する事は考えていない」と答えました。

しかし、開発業者が獅山市長に対し10月4日の面談で「これ以上待てないのでやりますよ」と建設強行を表明したことから事態は一挙に緊迫しています。

開発業者が場外車券売場の設置

申請するには競輪主催者の売上げ見積などが必要なことから、大津市がゴーサインを出し開発業者に協力している可能性もあります。

「反対したが建設されてしまった」という事になれば大変です。

私達は「担当部署の責任で大津市に進出しないよう申し入れるなど、ギャンブル施設建設を阻止するための具体策を立てて最大限の努力をしてもらいたい」と強く要請しました

緊急事態に署名活動を強化

開発業者の㈱トランスワード社長が獅山市長に建設強行を表明するという緊迫した事態を迎え、「場外舟券車券売場建設に反対する自治会連絡協議会」は、10月16日から毎週日曜日に近隣住宅地で各戸訪問の署名に取り組んでいます。

11月13日からは「場外舟券車券売

場建設に反対する会」も加わり、両団体の統一行動として署名活動を飛躍的に強化したいと考えています。「自連協」「反対する会」の皆さんは積極的に参加してください。

- ① 11月13日 15時から 原町・平和堂前
- ② 11月20日 13時から 銀座・大創前